

大会要項

1. 大会名称

2023 秩父宮杯 第 70 回関東大学アイスホッケー選手権大会

2. 主催

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

3. 協賛

茨城県アイスホッケー連盟 神奈川県アイスホッケー連盟 埼玉県アイスホッケー連盟
千葉県アイスホッケー連盟 栃木県アイスホッケー連盟 山梨県アイスホッケー連盟

4. 後援

公益財団法人日本アイスホッケー連盟
毎日新聞社
スポーツニッポン新聞社

5. 期間

B/C グループ 2023 年 4 月 15 日 (土) ~ 6 月 25 日 (日) A グループ 5 月 7 日 (日) ~ 6 月 4 日 (日)

会場

ダイドードリンコアイスアリーナ
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25

6. 大会事務局

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
TEL : 042-467-8282 FAX : 042-468-2131
〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25

7. 表彰式

グループ別の表彰式を実施する。原則として、選手全員参加とする。
スケート・ユニホーム・部旗を持参すること。(主将を含め最低 5 名以上の選手が参加すること)

8. 入場料 東伏見ダイドードリンコアイスアリーナ

一般 1,000 円 高校生・中学生・小学生 500 円

9. 大会費

参加費 全チーム **50,000 円**
試合費 (1 試合当たり) 試合数に応じて負担する。
A グループ 20 分ゲーム **70,000 円**
B/C グループ 15 分ゲーム **60,000 円**

※参加費は、2023 年 4 月 7 日までに指定口座 (大会要項 16) に振り込むこと。

試合費は各グループの大会終了日までに振り込むこと。

参加申し込み後の辞退については、参加費を支払うこと。また日程が確定後の場合は、試合費も予定されていた試合数分を支払うこと。

11. 参加チームおよびグループ分け

2022 年度関東大学アイスホッケーリーグ戦のランキング結果により 1 位から 14 位までを A グループ、15 位以下を B/C グループとする。

但し、大会参加大学数によりグループ内チーム数に変動することがある。

*リンク事情などにより、急遽試合日程の変更があることをご承知おきください。

12. 大会参加申し込み

指定様式に記載し **2023年3月10日（金）迄**に下記に電子メール（必ず excel データのまま）にて、送信すること。送信先アドレス：univ@tihf.gr.jp

13. 参加資格および登録

※選手および役員は、**2023年度**の（公財）日本アイスホッケー連盟登録完了済みであること。
（登録料支払い済みを原則とする）

※選手の追加登録

原則として、**2023年4月28日（金）まで**（会費振込期限も同日まで）とする。

但し、試合前日までに当連盟に届出を行い認められた場合には、この限りではない。

スタッフの追加登録は大会期間中であっても随時受け付ける。

選手・スタッフ追加の際はその都度、**訂正した全員分**の参加申込書を提出すること。

※選手登録人数がゴールキーパー（以下 GK）1名とスケーター5名に満たないチームは、今大会に限り参加資格を失う。

※女子及び大学院生は試合への参加資格を持たない。

14. 表彰

各グループ1位・2位・3位を表彰する。

個人表彰は各グループから最優秀選手賞1名を表彰する。

また、Aグループよりベスト6及び最優秀新人賞1名を表彰する。

15. 組合せ抽選会は、実施しない。

16. 振込口座

銀行名 東京三協信用金庫 東伏見支店（店番 016）

口座名 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

普通預金 口座番号 100388

※必ず大学名（登録チーム名）で振り込むこと。

17. 試合映像撮影・配信

本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。

本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利（公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を（公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）日本アイスホッケー連盟および（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることを、本大会参加をもって承諾したこととする。

18. その他

大会参加チームは傷害保険に加入し、保険証券または保険申込者（加入者）がわかる明細のコピーを必ず提出すること。

※提出期限、**Aグループは4月21日（土）まで**、**B/Cグループは初戦前日までに**、連盟事務所に提出すること。

競技要項

1. 試合方法

☆A・B グループ

*1・2回戦までは、トーナメント方式で試合を行う。

ホームチームの設定は、**トーナメント表の左側を仮ホームチームとする。**

*2回戦勝利チームは、決勝リーグ戦に臨み最終順位を決定する。

ホームチームの設定は、**対戦表の左側を仮ホームチームとする。**

*2回戦敗退チームは、5位から8位決定トーナメント戦に臨み最終順位を決定する。

ホームチームの設定は、**トーナメント表の左側を仮ホームチームとする。**

*1回戦敗退チームは2つのブロック（E・F）に分かれてリーグ戦を行う。

ホームチームの設定は、**対戦表の左側を仮ホームチームとする。**

その後、9位から14位の決定戦に臨む。

ホームチームの設定は、**トーナメント表の左側を仮ホームチームとする。**

第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム**5名**ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト（以下 PSS）により勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつの PSS により勝敗を決定する。

但し、決勝リーグ戦で第3ピリオド終了時同点の場合は、3分間のインターバル後、3対3のサドンデス方式による正味5分間の延長ピリオドを行う。

尚且つ同点の場合は、両チーム**5名**ずつの PSS により勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつの PSS により勝敗を決定する。

☆C グループ

1回戦総当たりのリーグ戦方式で試合を行う。

ホームチームの設定は、**対戦表の左側を仮ホームチームとする。**

第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム**5名**ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト（以下 PSS）により勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつの PSS により勝敗を決定する。

2. A/B グループの決勝リーグ・1回戦敗退リーグおよび C グループでの勝ち点及び順位決定方法について

レギュラータイム勝ち、3点 / 延長・PSS 勝ち、2点 / 延長・PSS 負け、1点 /
レギュラータイム負け、0点

にて最終順位を決定する。

	RT勝	延長・PSS勝	延長・PSS負	RT負
勝ち点	3	2	1	0

さらに決しない場合は、下記により順位を決定する。

- ① レギュラータイムの勝数の多い順
- ② 当該校の対戦成績の勝点の大なるもの
- ③ 当該校同士の得点の大なるもの
- ④ 当該校同士の得失点差の大なるもの
- ⑤ 順位決定リーグ内における試合の得点の大なるもの
- ⑥ 順位決定リーグ内における試合の得失点差の大なるもの
- ⑦ 全試合（リーグ戦+トーナメント1試合）での得点の大なるもの
- ⑧ 全試合（リーグ戦+トーナメント1試合）での得失点差の大なるもの
- ⑨ 前年度ランク上位のもの

3.試合時間（原則として、ダイードリンコアイスアリーナの試合は、練習終了後、製氷があります）

Aグループ 練習7分 正味20分×3P 各ピリオド間インターバル 約12分

B/Cグループ 練習7分 正味15分×3P インターバル 1P-2P間5分 2P-3P間 約12分

☆各グループの試合で、7点以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとする。

①点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。

②次の場合は時計を一旦止める。

a)得点時。（レフェリーが本部に報告し電光掲示板入力を確認され次第直ちにスタートする）

b)反則発生時。（次のフェイスオフでパックがドロップ後スタートする）

c)タイムアウト。（アナウンスと同時に止め終了ブザーと同時にスタートする）

③反則時間終了時にプレイが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティボックス内から出てはならない。

4.競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則ならびに（公財）日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

5.補助規則（今大会東京都アイスホッケー連盟が定めるローカルルール）

1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。

2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。

3) プレイヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクを着用しなければならない。

バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。

4) プレイヤーはマウスガードを着用しなければならない。

（試合中の不正な着用は警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す）

5) 危険な用具を着用している選手は試合に出場することができない。

試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を確認する。

試合中、正しく防具を着用していないプレイヤーに対しては、警告なしにミスコンダクト・ペナルティを科す。「お守り」は縫い付けての着用以外は認めない。

尚、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。

名前を隠すためのテープ使用は不可とする。同系色の布を縫い付けること。

*グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから必ず出すこと。できる限りタイダウンストラップで密着させなければならない。(タイダウンストラップについては、今大会猶予期間とするが、レフェリーより、何度も注意された場合には、ミスコンとなる)

*試合中において、ベンチから氷上に出る際、ユニホームがパンツから出ているか選手スタッフ間で確認すること。

*ストッキング上のテープは透明がよい。ストッキングのデザインと違う色のテープにより、色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明のテープのみ使用できる。ベルクロタイプのバンドも同様とする。

*2003年1月1日以降に生まれた選手は、ネックガード・イヤガードの着用すること。該当する選手は、オールメンバー表のチェック欄に記入して提出すること。

- 6) 練習中、ヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用しているかをゲーム・スーパーバイザーが確認し、是正させることがある。
- 7) 試合の際に役員(監督・コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りすること。(役員はIDを着用しなければベンチ入り出来ない)役員不在の場合は没収試合とし不戦敗(スコアは0対15)とする。
役員とは大会要項13のチーム役員登録された者を指す。
※学生は役員として登録することはできない。
- 8) ベンチにはGK2名・プレイヤー20名の計22名、役員6名までが入れる。
尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 9) タイムアウトは全グループの全試合、各チーム1回使用できるものとする。

10) オールメンバー表・オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し、試合(オフィシャル当番)の当日、入場時(練習開始1時間前)に提出すること。

- 11) 試合当日(試合開始時)試合を遂行するのに必要な最低人数(GK1名とスケーター5名)に満たないチームは、その試合を放棄したものとみなし不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 12) 仮ホームチームは、本部席より向かって左側のベンチに入ること。
- 13) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。但し、対戦する両チームのユニフォームが同系色の場合は、仮ホームチームがユニフォームを着替える責任を有する。(基本は、仮ホームが色付き、ビジターが白色を着用すること。但し、チーム間で協議が整えば、この限りではない)
- 14) ホーム・ビジター制度は、全グループ・全試合において適用する。
ホームチームの決定は、試合開始前のパックスにより決定する。その際、仮ホームチームがパックスの表裏を選択できるものとする。
- 15) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回のみ要求できる。
- 16) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、両チームが同時にならないよう出入り口に近いベンチのチームから先に速やかに退場すること。
尚、後のチーム(氷上にいる選手)は、一度自チームのベンチに戻りレフェリーの指示により退場すること。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームベンチに戻らない場合はベンチマイナー・ペナルティを科す。
- 17) ベンチドアマンの取り扱い
 - ① 当日の試合に出場しないが選手登録をされている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことが出来る。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載すること。ただし、役員6名には含まれない。
 - ② ベンチドアマンは、危険防止のためフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。

試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

18) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止する。

19) ベンチ入りする学生スタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のためフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。**ドアマン以外の学生スタッフは、役員6名に含まれる。**

レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

20) 第2ピリオド・第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ氷上に上がることを。

21) PSSの先攻・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。

注意事項

*事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟規約違反をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、処分を科す。

***試合前練習の際、終了ブザー後にシュートを打った選手は、その試合の出場資格を失う。**

***ペナルティベンチ内では、終了30秒前まで座っていること。また味方への応援を含む一切の私語を禁止する。（上記については、オンアイスレフェリー以外が処分を課すことがある）**

☆ 特別ルール

競技要項

1. 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。

一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

2. パックスは、ソーシャルディスタンスを保ち行うこと。

3. レフェリーその他競技役員との握手は一切行わない。選手同士も禁止する。

4. ベンチ内において、スタッフ（部長・監督・コーチ・トレーナー）は、飛沫飛散防止のため不織布マスクを着用すること。またドアマンなどベンチ入りする学生はフルフェイスの中に飛沫飛散防止のため不織布マスクを着用すること。

5. ウォーターボトル、タオルは共有しないこと。

以下の項目は、2020年7月29日にJIHFから発出された通達に準ずること。（以下、要約文として記載）

6. ペナルティアテンダントについて・・・得点時は自らドアを開けて出ていくこと。

7. 試合中のベンチ内選手について・・・交代選手以外は座っていること。

8. 試合中断時のパックスの扱いについて・・・中断時にはパックスに触れないこと。

GKはキャッチしたらリンク上に置くこと。

その他

・施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受けること。

・施設内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること。（控室など着替え場所及びミーティング場所・トイレ使用の際・ウォームアップ時においても着用すること）

・指定エリア（控室・着替え場所・トイレ・アップ場所）以外への立ち入りを禁止する。

・試合終了後、ベンチ内清掃（アルコール消毒）を行うこと。（連盟役員の指示に従って実施）

・施設内において、選手の水分（栄養）補給以外は基本的に飲食禁止とする。

・ゴミはチーム各位で必ず持ち帰ること。（施設内にゴミ箱は使用不可）

・試合終了後30分以内に退場すること。

*新型コロナウイルス感染症防止対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があること
をご承知おきください。

<緊急連絡先>

第1連絡先 大会運営委員長 横川（学生事業委員長）携帯：090-8507-9867

第2連絡先 運営副委員長 松本（専務理事） 携帯：090-3345-2412